

第 **57** 号
令和7年
4月発行

MIDORI KITAKYUSHU みどり北九州



北九州緑化協会

発行

一般社団法人 北九州緑化協会

〒802-0026 北九州市小倉北区大倉2-10-1

発行人/藤田良司 編集/広報委員会



◎ご挨拶

北九州市長 武内 和久 会長 藤田 良司

◎みどり行政最前線

「一人一花運動の新たな取組み」他

◎北九州 緑の街かど探偵ダン

◎初めまして「○○」です

◎到津の森公園 園内緑地保全整備支援活動

◎グッドニュース

◎藤田会長のコラム

◎令和6年度 協会活動報告

◎会員名簿

◎『響灘緑地研修館』貸出のご案内

「モノレールと植樹帯」
撮影:編集部

ご挨拶



北九州市長 武内 和久

一般社団法人北九州緑化協会の皆様におかれましては、日頃から北九州市の都市緑化や公園緑地の維持管理業務など多岐にわたり、多大なご尽力をいただいております、深く感謝申し上げます。

公園は、都市緑化という面から大事なインフラであると同時に、市民のウェルビーイングを増進してくれるものであり、また人々とのコミュニティを育む場でもあります。

皆様には到津の森公園での緑地保全整備支援活動、花と緑のまちづくりコンクール、北九州エコーイフステージなど、地域貢献活動にも大変熱心に取り組んでいただいております、重ねてお礼申し上げます。

北九州市では、一人一花運動や公園応援団など、市民や企業の皆様が一体となって都市緑化を支えていただく取組をスタートしており、これも皆様のご協力があったからこそ、進めていけるものです。

北九州市は昨年、60年ぶりに社会動態が増加に転じるなど、まちのポテンシャルが「見える化」さ

れ、新たな可能性に期待が膨らむ転換点を迎えています。

令和7年度は、再起動した北九州市の成長を加速させるべく、「成長への反転攻勢」を掲げ、このまちの元氣と勢いをさらに大きくしていきたいと考えています。

公園事業では、子ども目線の公園づくりや子育て世帯が憩える環境づくりを行うとともに、若者文化に対応した公園づくりの社会実験やインクルーシブな子ども広場の基本計画の作成などに取り組んでいます。

これからも、公園の持つポテンシャルを磨き続け、多くの人を惹きつける彩りあるまち、人の心をより豊かにしてくれるまちの実現に向け、ともに歩みを進めていただきますよう、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



一般社団法人北九州緑化協会
会長 藤田 良司

今年の桜の開花をどのようにご覧になりましたか。立場や年齢によって見方や感じ方は様々ですが、皆様におかれましては新たな気持ちで令和7年度を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて嬉しいことが二つありました。一つは北九州市が3年毎に改選される『日本新三大夜景都市』に再び第1位に選ばれたことです。街の灯りや工場夜景など色んな「光」の見事なコンストラクトが評価されたのだと思います。もう一つは、北九州市の社会動態が60年ぶりに人口転入超過となったことです。進出してくる企業が増えていること、そしてこの街に住みたいと考える人が増えたのでしょうか。

過去、大多数の市民は「この街が大好きなのになぜか誇りが持てない」と言う結果の民間調査がありました。今一度、北九州市の「ものづくり」で日本や世界に果たしてきた役割、そして「環境先進性と技術力」で未来を拓く高いポテンシャルとその可能性について考えてみませんか。

人口減少の時代において、転入者が転出者を上回る社会増加が昭和39年以来、実現しました。この社会増加を継続させるためには、これまで以上に企業進出や既存の市内企業の事業拡大等による雇用創出を図ることはもとより、北九州市を住みたい・住

み続けたいと思われる「安全・快適で住みやすい街」にしなければなりません。

「みどり産業」は税金を原資とし街づくりに関わる業務を多く受注している業界です。北九州市の予算は約6300億円の歳入と歳出から成り立っていますが、私たち造園業界が置かれている状況は、端的にはこの数値をもっと上げるため都市の安全や魅力を、より強化することと考えます。

今、「この街は確実に変わり始めている」と感じるのは私だけではないと思います。私たちが「この街に何ができるか」を考えてみませんか。いつもやっていることの延長でも良い、新たなチャレンジでも良いと考えます。

まずこの街に関心を持つことが大きな一歩になると思います。私たちにできること、なすべきことを一緒に考え、そしてアメリカ合衆国第35代大統領ジョン・F・ケネディーが敬愛した江戸時代の米沢藩主上杉鷹山の『為せば成る、為さねば成らぬ事も成らぬは人のなさぬなりけり』の精神でいきましょ。



みどり

行政最前線

一人一花運動の新たな取組み



武内和久北九州市長と高島宗一郎福岡市長による発表

北九州市では福岡市との都市間連携の取組みとして、福岡市の「花による共創のまちづくり」の理念に賛同し、一人一花運動を推進しています。

令和6年11月11日に、北九州市が誇るバラの名園「グリーンパークローズガーデン」において、両市長が新たな取組みを発表しました。

北九州市でも
一人一花割引をスタート！



「一人一花割引」は、園芸店様からご支援いただく制度で、公園や歩道での花壇づくり活動をされている方々に、花苗や園芸用品を購入するときに、5%の割引をしていただくものです。

今回、一人一花活動サポート企業として、北九州から様々な企業様（株）ナフコ、北九州生花商協同組合、北九州フローリスト協同組合

にも加わっていただき、現在、一人一花割引の対象店舗は、県内15社



北九州市
一人一花割引
詳細はこちら

約300店舗に拡がっています。

まちづくり活動に参加されている方々が、より園芸用品や花苗を購入しやすくなり、あちこちに花を植えていただき、花があふれることで、まちに対する愛着が更に高まり、この北九州市というまち全体のイメージが更に明るく前向きになっていく、そういう変化を目指していきたいと思っています。

あふれる花で
北九州を明るく賑やかに

花は誰からも愛され、花の持つ元気で、明るさは世代を超えて人々をつなげ、心を動かします。彩りある「空間」をつくり、安らぎや癒しがあるまちの実現に向けて、会員の皆様のお力を是非お貸しください！

一人一花運動とは

一人一花運動とは、市民・企業・行政一人ひとりが、公園や歩道、会社、自宅など、ありとあらゆる場所での花づくりを通じて、人のつながりや心を豊かにし、まちの魅力や価値を高める、花によるまちづくりを目指す取組みのことです。



記：北九州市都市戦略局緑政課

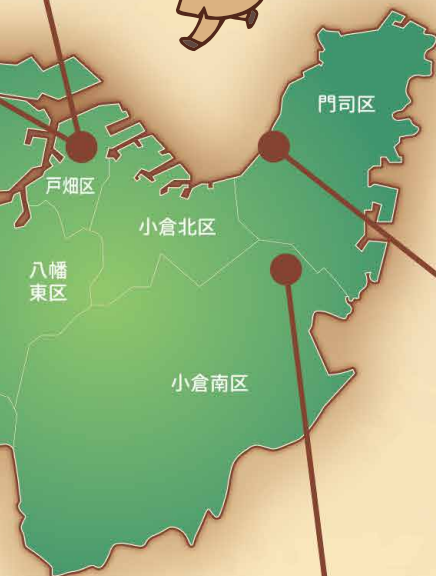
スポンサー花壇は、小倉駅前や黒崎駅前、勝山公園などの市が管理する花壇の花苗費用などについて協賛をお願いするものです。ご協賛いただいた企業様の名称が入ったサインを花壇に設置します。



詳しくは
北九州市都市整備局公園管理課まで
093-582-2464



緑の街かど探偵ダン



あなたの心にグッとくる光景をお届けします!!!

北九州市内では、多くの緑の豊かな空間が保たれています。
地球温暖化の中で、これは緑化行政のとても大いなる成果だと思います。
なにげない公共空間が、光と風とそして緑と交わり、そこに住まう人々
におだやかな生活空間を届けているのです。
この新コーナーでは、人の心をとらえて離さない美しい光景や、守りたい
と思う風景をご紹介します。

大里海岸緑地

門司区



安部山



安部山公園へ
向かう坂が
桜のトンネルに!

門司駅から海側へ徒歩5分の
南国風スポットよ!

バリアフリーだし、
海沿い500mのお散歩コースが
最高だワン!

戸畑区



明専の松並木

明治学園の前の
松並木だね！

この通りの愛称は
公募で決まったんだって



戸畑区

飛幡八幡宮から
戸畑駅への
通りだね

戸畑祇園の夜は
出店がずらっと
並ぶよ！



参宮通り



〈番外編〉

モノレール植樹帯



表紙のモノレール植樹帯は
みどりがあふれんばかり
だったね～

ここの植樹帯は
少し寂しくなったね～

みどりが
たくさんあるほうが
いいね！



小倉
南区



でも最近
はサクラも
減っている
みたい…



初めまして 「〇〇」です

(市職員の横顔)

都市整備局河川公園部みどり公園課

仕田原奈穂さん

初めまして、都市整備局河川公園部みどり公園課の仕田原奈穂です。

2021年に入職し、今年で4年目になります。生まれも育ちも小倉南区で、高校卒業後に東京の大学に進学しました。郊外の大学だったため、大都会東京といった雰囲気はみじんもなく、アナグマなどの野生動物が生息している緑豊かなキャンパスで6年間を過ごしました。

大学時代は、長期休みになると、岐阜の栗農園で働いたり、長野で古民家を活用したゲストハウスの開業準備を手伝ったり、パン作りで地域内循環を目指すパン屋に行くため、鳥取まで足を伸ばしたり...と全国各地面白そうな地域に遊びに行っていました。自分が生活する地域のために何かしたいと活動している人々の話を聞く中で、私にとってそのように思い入れのある場所は地元北九州だと思い、就職を機に

帰ってきました。

入職して3年間は門司区役所まちづくり整備課で、公園や街路樹の維持管理、市民要望の対応、公園工事の設計・監督の業務を担当していました。令和6年度からみどり公園課に異動し、大規模公園の設計を担当しています。大学時代は自然生態系保全の分野を中心に専攻しており、造園や土木に関する知識が乏しいため、苦勞することも多いですが、自分が設計したもののが形になっていく過程はとても面白いです。また、自分が担当した公園が人々に使われている光景をみると、頑張つてよかったと思います。

まだまだ未熟ものですが、これからも誠心誠意業務に取り組んでいきます。どうぞよろしく願います。
写真の場所は、令和6年度担当した大里公園の健康遊具広場です。大里公園は門司区役所時代に出来上がつていく過程を見ていたため、設計としてかわることができ、感慨深いです。



到津の森公園 園内緑地保全 整備支援活動

2月18日(火)、協会の公益活動(地域貢献)の一環として、『到津の森公園』内の緑地整備活動を実施しました。

15回目となる今年は、会員企業から45名が参加し、『郷土の森』や『動物慰霊之碑』周辺の樹木の剪定や除草、清掃作業などを行いました。

「かけがえない自然やいのちを、世代を超えて未来へつなぐ公園を目指す」を基本理念とする到津の森公園では、動物だけでなく、四季折々に様々な樹木や植物の風景を楽しむことができます。当協会の活動が、園の魅力向上の一助になりましたら幸いです。

今後このような緑地整備や保全活動を継続していけるよう努めてまいります。



令和6年度 協会活動報告

令和6年

4月5日・6日

協会設立40周年記念行事として研修旅行を実施(研修・視察先: 熊本県・阿蘇神社・熊本地震震災ミュージアムKIKOKU・新阿蘇大橋・熊本県立大学「雨庭」・熊本城)。

6月7日

本協会を含め緑化7団体が加盟する「福岡県環境緑化懇話会」が服部誠太郎福岡県知事を訪問し、都市緑化事業の推進について要望・提案活動を実施した(藤田会長・三宮副会長出席)。

6月19日

定時総会を開催(会場: 響灘緑地研修館)。

・第1号議案(令和5年度事業報告及び決算報告)及び第2号議案(役員選任)が承認可決された。
・令和6年度の事業計画及び予算の報告がなされた。

・『北九州市の新ビジョン』と今後の公園行政等について』をテーマに北九州市都市戦略局緑政課の高尾精一課長にご講演いただいた。
・永年勤続被表彰者として小川雄三さん(株九州緑化産業北九州支店)が表彰された。
《総務財政委員会》





都市景観賞受賞

紫川親水広場が

「まちなみデザイン奨励賞」を受賞。



この度、第10回北九州市都市景観賞において、当協会会員（岡崎建工（株）、菅原造園建設（株））からなる岡崎・菅原共同事業体が施工した紫川親水広場が「まちなみデザイン奨励賞」を受賞しました。

この賞は、優れた景観形成に貢献した建築・都市空間を表彰するもので、紫川親水広場は、市民が憩い、交流できる美しい水辺空間としてその出来栄も高く評価されました。

今後とも両社が魅力ある都市づくりに貢献されることを期待します。

公園緑地折下功労賞受賞

本協会の稲富博生専務理事が、『第45回公園緑地折下功労賞』を受賞されました。



この賞は、国や地方公共団体などの公園緑地関係機関で公園緑地及び都市緑化事業の実務に多年にわたり従事・功労があった方を表彰するものです。

稲富専務理事は、北九州市に入職以来39年間北九州市の緑地行政などに尽力されました。その後、平成26年より本協会の専務理事に就任し、現在も北九州市がよりよい街になるよう本協会の会員とともに東奔西走の日々を送っています。

今日までの誠実で地道な努力と北九州市に対する熱い想いを持ち続け職務に邁進してこられたことに敬意を表します。

今後ともこれまでのご経験を活かし活躍していただくことを会員一同期待しています！



藤田会長のコラム

齢（よらい）60を過ぎて思う。

絵画「モナ・リザ」の作者で、万能の天才と称されるレオナルド・ダ・ヴィンチは、芸術家、画家でありながら科学者としても医学、数学、建築、土木、天文学、地質学、植物学等々に秀でた人物であり、また哲学者でもあった。その業績は多岐にわたり現在にも多く残されている。のちに多大な影響を与えているだけ、ダ・ヴィンチはいったい何年の人生だったのかと不思議に思ってしまう。

歴史によると彼は67歳の生涯だったとのこと。その67年間で全てのことを一人で成し遂げることが不可能だと考えられる。優秀な多くの仲間や弟子の協力と支援を受けての活動であつたに違いない。

ところで、皆さんは鉄鋼王のアンドリュース・カーネギーをご存知かと思う。13歳の1848年、両親と共に貧しい境遇のスコットランドからアメリカに移住し、幾度となく転職し苦勞に苦勞を、挫折と失敗を重ねて実業家カーネギーは世界一の鉄鋼会社USスチールを築き上げた。



私が社会人になったところ父親からカーネギーの墓碑に刻まれた文章を教えられた。『Here lies one who knew how to get around him men who were cleverer than himself.』……自分より賢き者を近づける術を知りたる者、ここに眠る。ダ・ヴィンチにおいてもカーネギーにおいても多くの偉人は、優れた人たちと協力しあい、お互いの能力を高めあうことによって問題を解決し、目標に向かって邁進し「事」を成したのである。

レベルは違つが我々にも同じことが言える。自分一人だけだと「考え」は発展しにくく行動も限られてしまう。

信頼できる仲間と熱く語り合うことから次なる未来が見えてくるのだと考える。語り合うことによって、眠っている自分の考えに気付いたり思わぬアイデアが飛び出したりと。

会社しかり、市政、国政、社会、緑化協会の運営もしかり、年齢や立場に関係なく激しく議論するのも良いのでは!! 貴方にとつても。

令和7年

1月17日

賀詞交歓会「新春みどりの集い」を武内和久市長を来賓に開催（会場：JR九州ステーションホテル小倉）。

2月18日

「到津の森公園」において、園内緑地保全整備支援活動を実施。《事業委員会》

3月10日・12日

福岡県立行橋高校からの依頼によりインターンシップの受け入れを会員4社が受諾し、生徒11名が参加。

年間

●広報委員会

広報紙「みどり北九州57号」の編集作業及び協会ホームページの更新作業を行った。

●支部活動

響灘緑地研修館の外構整備・管理を小倉北支部、若松支部が実施（4月30日、11月29日）。

●地域貢献活動

北九州市主催「第29回花と緑のまちなみコンクール事業」（都市整備局）、「北九州エコライフステージ2024」（環境局）主催へ協賛。

●その他

北九州市立大学より「北方キャンパス」樹木診断業務を受託。学生への講義、樹木診断及び状況現地解説を行った（水野晴之樹木医（株）水野文化園、菅原猛樹木医（菅原造園建設株））。

一般社団法人 北九州緑化協会 会員名簿

(令和7年3月現在)

支部	商号	所在地	TEL・FAX	支部	商号	所在地	TEL・FAX
門司	九州環境土木(株)	800-0112 門司区大字畑 46	481-3484 481-3483	東戸	(株) グリーンニッポ	805-0017 八幡東区山王 3-14-28	662-3201 671-1423
	(有) 西新緑地建設	800-0114 " 吉志 5-12-10	481-5467 481-5476		阿部緑花(株)	804-0091 戸畑区三六町 7-3	881-7686 647-6233
	(有) 豊西緑地開発	801-0823 " 春日町 25-24	341-3456 342-1111		菅原造園建設(株)	804-0094 " 天神 2-2-21	883-1120 883-1121
	(有) 松本造園建設	801-0811 " 大字大積 666-8	341-1501 341-1502	八幡南	(有) 岡野造園土木	807-0845 八幡西区永犬丸南町 2-13-38	613-3804 611-2952
	(株) 水野文化園	800-0112 " 大字畑 46	481-4600 481-4680		(有) 河村造園	807-1153 " 岩崎 4-1-34	618-7170 618-7515
	(株) 門司造園	800-0101 " 大字伊川 504-9	481-2918 481-2630		(有) サン緑化	807-1114 " 吉祥寺町 7-40	618-1567 618-4684
	(有) 門司緑地土木	800-0101 " 大字伊川 504-1	481-1897 481-1993		(有) 田代造園	807-1262 " 野面 740-1	617-1792 617-4518
小倉北	(株) 青葉造園	802-0023 小倉北区下富野 5-1-3	522-0234 533-7922		東洋緑地(株)	807-0854 " 泉ヶ浦 2-22-41	883-8972 883-8855
	(有) アートグリーン	802-0033 " 富野台 11-8	533-3735 452-1340		(株) 中川碧水造園	807-1125 " 池田 2-1-3	618-0822 618-6101
	朝日工産(株)	803-0853 " 高尾 1-32-14	592-4910 592-4261		平方晴宏園	807-0075 " 下上津役 3-20-24	612-5677 612-5701
	内山緑地建設(株) 北九州支店	803-0841 " 清水 1-12-15	581-2741 571-5392		(株) 緑研福岡支店	807-1142 " 楠橋東 2-1-23	647-0455 647-0456
	岡崎建工(株)	803-0846 " 下到津 5-9-22	581-4327 581-4632	八幡北	(有) 医生ヶ丘産業	807-0803 " 千代ヶ崎 3-1-6	601-8688 601-5338
	北九州東部緑地管理(株)	803-0814 " 大手町 5-23	591-1487 591-1489		(株) 折園	807-0863 " 大膳 1-14-22	601-1528 691-3063
	(株) 九州造園	802-0026 " 大島 2-10-1	531-6121 531-6123		(株) 九州緑化建設	806-0055 " 幸神 4-4-3	642-1267 641-0859
小倉南	(株) 九州緑化産業北九州支店	803-0856 " 弁天町 5-8	561-9027 561-9208		(株) 古賀造園	807-0806 " 御開 3-1-5	601-0495 601-9574
	(株) 西日本緑化	803-0836 " 中井 3-3-15-107	581-4128 561-5476		(有) 清水造園	806-0047 " 鷹の巣 2-6-30	631-0694 631-0703
	(有) 緑地管理中山工房	803-0835 " 井堀 4-2-16	776-1483 613-0447		(有) 千成造園土木	807-0875 " 浅川台 1-8-1	603-8050 603-8071
	青葉緑地建設(株)	802-0826 小倉南区横代南町 3-12-15	962-6175 962-6904		大成緑地建設(株)	806-0055 " 幸神 2-5-17	641-7113 647-5177
	(株) 環境造園	800-0207 " 沼緑町 1-19-15	471-6390 472-4070		(有) 古門造園	806-0013 " 清納 2-8-19	616-7118 616-7119
	(有) 協同造園土木	800-0207 " 沼緑町 1-8-75	473-1509 473-3911		(有) 山代造園土木	807-0852 " 永犬丸西町 2-1-10	693-9718 693-9706
	(有) グリーンカンパニー	800-0228 " 長野 1-8-22	474-5677 474-5733	若松	(有) 渡辺造園	807-0826 " 丸尾町 11-3	602-8336 602-8362
小倉南	グリーン・ライフ(株)	802-0826 " 横代南町 5-5-1	230-0472 230-0137		岡崎造園(有)	808-0001 若松区小石本村町 2-1	771-9255 771-8580
	小倉造園(株)	802-0821 " 横代北町 5-22-36	962-1136 962-1046		荻迫緑化	808-0146 " 高須西 2-6-17	741-6816 741-6819
	(有) 小倉南緑地	802-0979 " 徳力新町 1-15-23	963-0769 961-5649		(有) 三司緑化建設	808-0106 " 片山 1-2-33	701-1565 791-7955
	総合緑地建設(株)	803-0261 " 大字合馬 301	453-1678 453-1677		三宮造園(株)	808-0104 " 畠田 3-4-12	701-0422 791-9223
	(有) 日浦緑地建設	800-0201 " 上吉田 2-15-33	473-5296 473-5256		(有) 洞北緑地建設	808-0133 " 大鳥居 14-2	741-1820 741-1848
	豊州造園建設(株)	800-0242 " 津田 5-9-24	473-6967 473-8084		日本緑営(株)	808-0104 " 大字畠田 943-1	791-0440 791-0441
	(株) みらい	800-0222 " 中曽根 3-7-32	472-5999 472-4999	賛助会員			
山本興業(有)	(株) 守恒造園建設	802-0986 " 志井鷹羽台 4-3	962-4211 962-4272				
	山本興業(有)	803-0261 " 大字合馬 234-1	451-2312 451-2312				

緑について気軽にご相談ください。



一般社団法人北九州緑化協会

TEL:093-482-2200 または 093-482-8018

『響灘緑地研修館』貸出のご案内

『響灘緑地研修館』は、公益目的の研修活動であれば協会員以外の方もご利用いただけます。詳しくは協会ホームページをご覧ください。

所在地 〒 808-0124 北九州市若松区大字安屋 900 番地 11

電話：093-482-8018 FAX：093-482-8019

E-mail：info@kita-ryokka.or.jp

HP：http://www.kita-ryokka.or.jp



編集後記

この度も多くの方のご協力のおかげで『みどり北九州』第57号を送り出すことができました。第57号の発行のご協力頂きました皆様にこころよりお礼申し上げます。

昨年、地球温暖化の影響による問題が顕著化しております。とはいえ、オゾン層の減少問題も社会的取り組みにより改善されたように、この問題もきっと解決への糸口があるはず。私たち業界も非常に密接な関係があるので地球温暖化の問題の本質をしっかりと捉え、豊かな未来を次の世代へと繋いでいきたいですね。

編集委員 HH